

西洋形商船船長運転手及ヒ機関手試験免状規則（明治9年太政官布告第82号）抄

	<p>内務卿ハ各船長運転手或ハ機関手ノ技芸劣等若クハ粗暴ナルカ或ハ不行状ニシテ其職務ヲ執ルニ不適當ト思察スルトキハ直ニ之ヲ審究或ハ審究セシムヘシ而シテ左ニ掲クル場合ニ於テハ其免状ヲ取消シ或ハ一時其使用ヲ停止スヘシ</p>
第十條	<p>第一 乱酔 不行状 粗暴 指揮ニ悖戾シ 職務ニ怠ル者</p> <p>第二 其失錯又ハ不良ノ所為ニ由テ船ヲ失ヒ或ハ拾テ或ハ之レニ大損害ヲ生シ又ハ人命ヲ害ナヒ或ハ人ニ大傷痕ヲ被ムラシムル者</p> <p>第三 他ノ甚シキ罪科ヲ犯セシ者 凡ソ船長運転手及ヒ機関手ヲ論セス一旦其免状ヲ取消シ或ハ一時其使用ヲ停止セラレタルトキハ其免状ヲ内務省若クハ其筋ノ官庁ニ取揚ケ且其失錯ニ就テ二百五十円以内ノ罰金ヲ科スヘシ 其掛り吏員ハ其免状ヲ取消シ或ハ其使用ヲ停止セラレタル者ヲ一百屯以上又ハ五十馬力以上ノ航洋船ノ船長運転手若クハ機関手トシテ其職ヲ執ラシムヘカラス 又何等ノ人タリトモ其免状ヲ取消シ或ハ一時其使用ヲ停止セラレタル者ヲ船長運転手或ハ機関手トシテ其職業ニ傭使スルヲ許サス若シ其情状ヲ知テ之ヲ使役スル者アラハ二百五十円以内ノ罰金ヲ科スヘシ一旦其免状ヲ取消サレタル者ト雖モ爾後内務卿ノ適當ト思考スル場合ニ於テハ再ヒ同等若クハ下等ノ免状ヲ授与スルコトアルヘシ</p>
第十一條	<p>前ニ掲載セル犯罪者ハ裁判所若クハ其筋ノ官員ニ於テ之ヲ審断スヘシ</p>
第十二條	<p>裁判所若クハ其筋ノ官員相当ノ糺彈ヲナセシ上罰金ノ額ヲ決スルトキハ現時或ハ他日本人ノ受ケ取ルヘキ給金若シクハ其他ノ金額ヨリ之ヲ納メシムルコトアルヘシ但シ船主若シクハ本人ヲ雇使スル者其裁判所若クハ其筋ノ官員ヨリ其旨ノ命令状ヲ受取ルニ於テハ現時或ハ他日本人ニ渡スヘキ給料若クハ其他ノ金額中ヨリ其罰金ヲ引去リ之ヲ上納スヘシ 船主若クハ傭主タル者其傭使スル船長等ニ裁判スヘキ事件ヲ生スルトキハ其裁判未決ノ間ハ之レニ給料及ヒ其他ノ金額ヲ与フヘカラス若シ其裁決ヲ終ヘサル間ニ故ナク之レニ給料其他ノ金額ヲ与ヘ又ハ命令状ヲ受取りタル上条理ナクシテ其罰金ヲ払フコトヲ怠ルトキハ其ニ倍ノ罰金ヲ科スヘシ</p>
第十三條	<p>犯罪者其処決ニ服セサル者ハ一般ノ規則ニ遵テ控訴上告スルヲ得ヘシ</p>

--	--	--